



## チャペルコンサート 生演奏で魅了

6月3日(土)、セントロ大隅内のセントロチャペルにおいて、阿部商事有限会社の主催による「チャペルコンサート」が開催されました。

これは、セントロ大隅(永吉)を皮切りにセントログループが大隅半島に展開して5周年を記念して、多くの町民に楽しんでもらおうと入場無料で2回公演され、約200名が来場しました。県内の大学生など5名によるピアノやサクソ、声楽などチャペルで奏でられた音色に来場者は魅了されていた様子でした。

吹奏楽部に所属する大崎中学校2年の黒岩由羽華さんは「感動しました。いつか私もこのように演奏できるようになりたいです」、母親の遥香さんは「14年前にこのチャペルで結婚式の前撮りをしました。久しぶりに思い出の場所で素晴らしい音楽を聞けて、感激です」と話されました。



## 地域の環境をみんなで守ろう ボランティアで海岸清掃

5月21日(日)、益丸海岸の清掃活動がおこなわれました。これは、南九州大崎ロータリークラブがロータリー奉仕デーとして海岸のごみ拾いを実施したもので、下記団体に呼びかけ約70名が参加し、総重量約64.5キログラムのごみを拾いました。同クラブ社会奉仕委員長の中倉広文さんは「これからもクラブとして、またロータリアンとして、地域環境を持続可能なものに、さらにより向上していけるよう、今後も奉仕活動を続けていけたらと思います。皆様のご協力に心から感謝します」と話されました。

**【参加団体】**南九州大崎ロータリークラブ・新大隅青年会議所・志布志ホークス・大崎町SDGs推進協議会



## 畑地かんがい事業完工記念碑除幕式で 完工を祝う

5月20日(土)、曾於南部地区畑地かんがい事業の完工記念碑除幕式が輝北ダムにおいておこなわれました。この事業は、輝北ダムの水を鹿屋市、志布志市、大崎町のおよそ4,000ヘクタールの畑に送るものです。工事は平成元年に着工し、国と県がおよそ780億円の事業費と34年の歳月をかけてダムやポンプ場、水路などを整備し令和5年3月に完工しました。除幕式には国、県、関係市町の関係者約80名が出席し、事業の完工を祝いました。曾於南部土地改良区の理事長でもある下平晴行志布志市長は「農業に関わる皆さんの生活が少しでも安定的になるように活用していきたい」と話されました。